



主な内容

- 2……住宅用火災警報器の取り換え、公共施設の使用料などの改定
- 3～6……議会だより
- 7……ひまわり 8……2月の二次救急実施病院

発行/名張市秘書広報室 〒518-0492 名張市鴻之台1-1 ☎0595-63-7402 ✉pr@city.nabari.mie.jp 🌐http://www.city.nabari.lg.jp

平成 28 年救助・救急件数

救急出場件数は3,000件を超える

救急出場状況

種別	急病	一般負傷	交通	その他	合計
出場件数	2,282 件	466 件	249 件	427 件	3,424 件
搬送人員	2,149 人	437 人	287 人	403 人	3,276 人

※その他とは転院搬送、労働災害などです。

救助出動状況

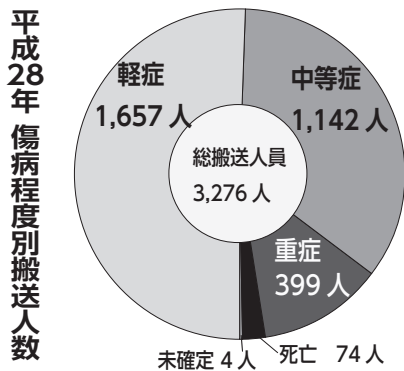
種別	火災	水難事故	交通事故	その他	合計
出動件数	0 件	0 件	19 件	33 件	52 件
救助人員	0 人	0 人	12 人	24 人	36 人

※その他とは機械による事故、自損行為などです。

救急出場件数の内訳は、急病が 2,282 件と最も多く、次いで一般負傷の 466 件、転院搬送の 313 件、交通事故の 249 件です。

平成 28 年中の救助活動は 52 件出動し前年と比較すると 12 件増加し、36 人を救助しました。

救急搬送人員のうち、約半分が軽症



平成 28 年中に救急車で搬送された人数は 3,276 人。このうち約半分に当たる 1,650 人が軽症でした。

軽症かどうかの判断が難しい場合もありますが、安易に救急車を呼ぶケースも見受けられます。

■ 救急車は次のような場合に呼んでください

- ① 意識がない (呼びかけ、体に触れても気がつかない)
- ② 胸や呼吸が苦しい (急な胸の痛み、呼吸困難)
- ③ 頭痛が激しい (経験したことのない激しい痛み)
- ④ 動き・話しぶりがおかしい (身体の麻痺や言語障害がある)

※その他、ケガによる多量出血、骨折、やけど、普段と様子が違う、体を動かせず救急車以外で搬送できないなどの場合



☎名張消防署 救急室 ☎63・0997

昨年中の救急出場件数は 3,424 件で、平成 24 年から 5 年連続で年間 3,000 件を超えています。これは 1 日あたり平均で約 9 件の救急出場したことになります。

また、搬送人員は全体で前年より 103 人増加し 3,276 人。そのうち「軽症者」は約 50% でした。

緊急性の高い傷病者を少しでも早く病院へ搬送するために、救急車の適正利用にご協力をお願いします。

救急車の適正利用を お願いいたします



救急車の適正利用を

救急車の出場件数が増加しています。しかし、救急車を要請した人の約半数は入院の必要がない軽症者でした。

市には 4 台の救急車があります。全ての救急車が出場している場合も増えていきます。要請が重なると、別の消防署の救急隊が出場することになり、現場への到着が遅れてしまいます。この状況では事故による大けがや心筋梗塞、脳梗塞といった直ちに病院へ搬送する必要がある人への救急車の到着が遅れてしまいます。

軽い症状の場合には、本当に救急車を呼ぶ必要があるかどうかを考えてください。緊急性が無く自分で病院に行ける場合は、救急車以外の交通機関などをご利用ください。また、どこの病院に行けば良いのか分からない場合は、三重県救急医療情報センターコールセンター (☎64・1199) が 24 時間体制で受診可能な医療機関を紹介しています。

傷病者の様子から急いで病院へ連れて行ったほうが良いと思ったときや、救急車以外に搬送の手段が無い場合は、迷わず 119 番通報をしてください。

本当に必要な人が救急車を利用できるようにご協力をお願いします。



名張消防署 救急室
三河内 伸一郎